



令和4年度 隈庄小学校だより

くまんしょ通信

一人一鉢のポータラカ

R4.7.22 文責 樋口

子どもたちの安全

昨日(21日)、1学期の終業式を行いました。1学期を振り返ると、やはり新型コロナウイルス感染症に振り回された学期だったと改めて感じます。特に5月、6月は学級閉鎖の措置が相次ぎ、子どもたちや保護者の方に、多くのご心配をおかけしました。申し訳ありません。これまで、子どもたちの健康安全を第一に考えて学校の



取組も強化してきたわけですが、コロナの影響は決して小さくありません。子どもたちの健康保障、学力保障、安全保障のために、これからも全職員で頑張っていきます。上の写真は、南門周辺に立てている「のぼり旗」です。PTAや防犯協会などからいただいたもので、子どもたちの道路横断時の交通事故防止のために、目立つように立てています。個人的には、車のスピードを落としてもらえよう、「幸せの黄色いハンカチ」(昔の映画)ばりに目立たせたいなと思っています。



ALTの先生が残したもの



これまで隈庄小学校で外国語の授業を行っていた「トーマス先生」と「アラン先生」が任期を終えることになりました。二人は休み時間にも子どもたちが離してくれない、人気の先生方でした。二人のおかげで、子どもたちは身近に生(なま)の英語と、外国の文化に触れることができ、それはそれは貴重な経験になったと思います。日本語がとてもお上手な先生方でしたので、私たちが気兼ねなく一緒に仕事をすることができました。トーマス先生、アラン先生ありがとう。しかし、二つ以上の国の言葉を話せるっていいですね。ちなみに私も二つの言葉を話せるんですよ。一つは日本語、もう一つは肥後熊本弁…あと博多弁も多少できます(笑)。

夏休み(38日間)どうする？

終業式では、子どもたちに身の回りにあるものに目を向け、「水道の蛇口からなぜ水が勢いよく出るの？」とか「髪の毛やツメはなぜ伸びるの？」など、「なぜ？」という疑問を見つけて「なぜをさぐる」ような夏休みにしてほしいと話をしました。さて、子どもたちは、どんな夏休みにしましょう。保護者のみなさんも、子どもたちが登校しない38日間を「さて、どうするか？」悩んでいらっしゃるでしょうね。

子どもが考える夏休みと親として考える夏休み…同じ夏休みですが、「感じる長さ」は全然違うでしょうね。



学校あるある②

左の写真は何でしょう。そう、そうです。教室にあるエアコンの室外機です。平成29年から設置が始まったエアコンですが、実は電気で動くわけではなくて、「ガス駆動式」なんです。隈庄小の場合は、プロパンガスで動いています。災害時には発電もするんですよ。6月7月はフルパワーで頑張っています。